

# 史跡備中松山城跡 全体地図



備中松山城  
雲海展望台  
[駐車場から500m]  
徒歩約5分

三角点  
478.3m

急坂

切通及び番所跡  
[天守から880m]

大松山城跡  
[天守から780m]

番所跡

大池  
[天守から680m]

分岐  
[天守から650m]

大松山吊り橋  
[天守から730m]  
徒歩約30分

アベマキ 臥牛山 最高峰480m

天神社跡

天神の丸跡  
[天守から550m]

檜皮の森林

相畑城戸跡  
[天守から350m]

車井戸

番所跡

土橋

臥牛山国有林

備中松山城

本丸

小松山城跡

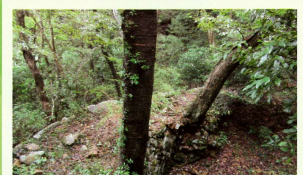
三の丸



おおまつやまじょうあと  
**大松山城跡**  
備中松山城の始まりの場所です。延応2年(1240)に秋庭三郎重信によって砦が築かれました。中世の砦の跡が残っています。



てんじん まるあと  
**天神の丸跡**  
臥牛山の最高峰(480m)であり、近世になって神社が作られています。発掘調査で検出した神社の跡を見ることができます。



きりとおし ばんしよあと  
**切通及び番所跡**  
北の端を守るために造られた切通と番所跡。山田方谷が整備したといわれています。



おおいけ  
**大池**  
地元では「血の池」と呼ばれ、人の首や戦で使われた刀を洗ったと伝えられています。別名「首洗いの池」。山中に数か所ある水利(井戸や溜井戸)のうち最大のもので、総石積の人工池。江戸時代の絵図には、屋根がかけられ小舟が浮かべられていたものもあります。



あいはたのき と あと  
**相畑城戸跡**  
備中兵乱(1575)の古戦場といわれており、番所跡や井戸などが残っています。



こまつやまじょうあと  
**小松山城跡**  
天守や二重櫓などが残っており、備中松山城の中核となる城跡です。元々は、大松山城跡などと同様の中世城郭でしたが、備中兵乱後に毛利氏の支配となり、石垣や土塀などを擁する近世城郭に造りかえられています。



なかたい こやぐらあと  
**中太鼓櫓跡**  
石垣で造られた櫓台などが残っています。太鼓を叩くための櫓があったと考えられており、下太鼓の丸跡と同様に太鼓によって城へ情報を伝達していたといわれています。

# 備中松山城

城山ウォーキングマップ

高梁市